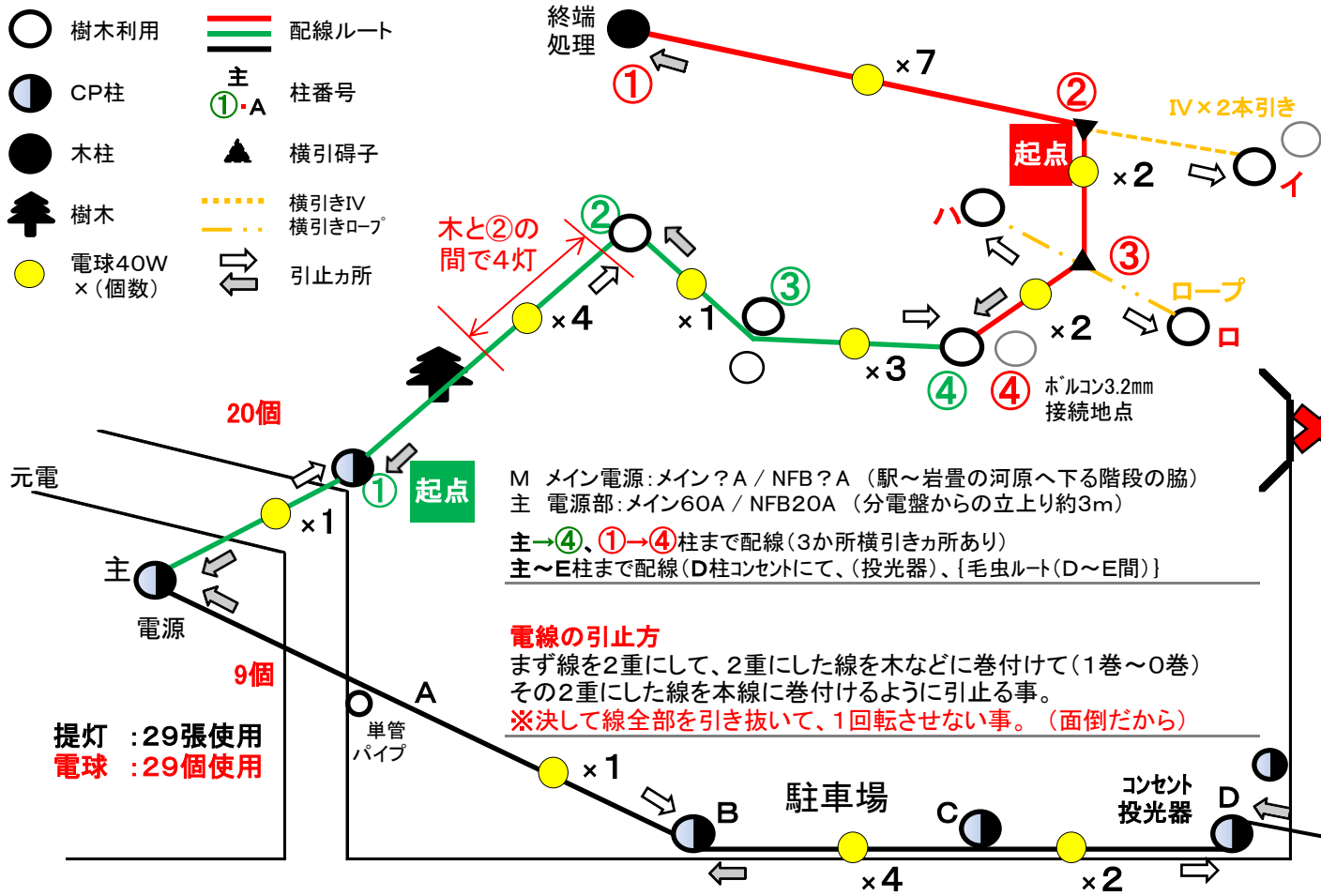


東屋

29年 船玉祭 臨時灯設置工事(秩建用)

- 樹木利用
- CP柱
- 木柱
- 🌳 樹木
- 電球40W x (個数)
- 配線ルート
- 主 柱番号
- ①・A 横引碍子
- ▲ 横引碍子
- ⋯ 横引きIV 横引きロープ
- ⇄ 引止カ所



M メイン電源:メイン?A / NFB?A (駅~岩量の河原へ下る階段の脇)
 主 電源部:メイン60A / NFB20A (分電盤からの立上り約3m)
 主→④、①→④柱まで配線(3カ所横引きカ所あり)
 主~E柱まで配線(D柱コンセントにて、(投光器)、[毛虫ルート(D~E間)])

電線の引止方
 まず線を2重にして、2重にした線を木などに巻付けて(1巻~0巻)
 その2重にした線を本線に巻付けるように引止る事。
 ※決して線全部を引き抜いて、1回転させない事。(面倒だから)

実線は、配線ルートとなる。
 波線は、横引き処置を施す。
 (▲地点にて、碍子を入れ横引きを行う)
 電球・ケーブルは、使回し

✖ 提灯なし: 2所あり
 提灯・電球を10個べえ請求する。

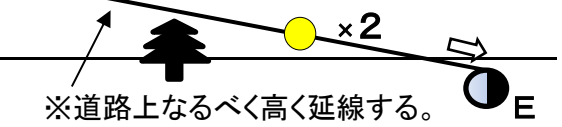
川方面配線...手順

起点①柱より電線を(主柱 or ③柱)に伸ばす。
 両間のソケット位置を電線にて調整する。
 電球&提灯を取付後、点灯確認を行う。
 確認後、電線を引上げて→各柱へ引止。
 主電源、分電盤に接続する際、電圧確認を行う。
 ※200VのNFBもあるので十分注意する。

②~④迄配線 ④柱にて引止しておく。

✖ 起点②より電線を、①柱に伸ばす。
 ②より横引きして、反対側の樹木、イへ引止準備
 この間の電球・提灯を取付け・点灯確認する。
 確認後、両端で調整しながら柱・木へ引止。
 一番低い所が地面より2m以上に調整する。
 上記作業が終了後、②~④まで延線を行い、
 電球・提灯取付け、点灯確認しておく。
 ③カ所より横引きして、樹木、ロへ引止準備
 ④カ所とロカ所にて、歩道上部に提灯が来るように
 電線を調整しながら柱・木へ引止。
 樹木、ハにロープを掛けて高さを調整する。

✖ 最後に、④柱にて、ホルコン(3.2mm)接続を行う。



- 1、B柱より、主 or C柱へ配線、D柱にて引止。
- 2、E柱より、D柱へ配線DEちゅうにて引止。
- 3、D柱コンセント接続。(D=E)プラグ・投光器
- 4、不点がある場合、2t車屋根を利用する。

- ※ 臨時灯設置工事は、10日(木)を予定、臨時灯撤去工事は、16日(水)を予定。 また10日、昼食は「きくや」を利用する。
- ※ 準備作業にて、電線の状態確認補修、電球・提灯などの在庫数確認、点灯確認など行っておく。(在庫足りない物は早めに部長に請求)
- ※ 分電盤はいつ取付するのか?なので、29年以降発電機を持っていき電源を確保する事
- ※ 分電盤NFBにて電源接続する際、必ず電圧確認を行う事。 29年右列、1番下のみ200Vが出ていて電球破損させた。